

## つつが虫病に気を付けましょう！

内科部長 佐々木 亨

新年度がスタートし、散策や山菜取りで野山に出かけるシーズンがやってきました。

これからの時期、気を付けなければならないのが、つつが虫病です。

つつが虫病は、ツツガムシ幼虫に吸着されたときに、人の身体へ病原体「つつが虫病リケッチア(オリエンティア・ツツガムシ)」が侵入して発病する病気です。野山や河川敷等は、ツツガムシの好繁殖地なので、そのような場所に入るときは、要注意です。

初めは風邪に似た状態ですが、4, 5日すると体幹部を中心として直径2～3mmの発疹が多数出現し、黄疸が見られるようになります。風邪薬や塗り薬は全く効きません。早期に医療機関で診断と適切な治療を受けることで回復しますが、更に数日～1週間以上放っておくと重症化し、死亡する場合があるので、我慢したり、受診をためらってはいけません。

怖いツツガムシですが、付着してもすぐに吸着せずに、適当な場所を探して動き回る性質があります。刺される前に衣類や体についているツツガムシを取り払うことで、危険性を減らすことができます。

### 有効な対処法

- ・ 野山や河川敷等は、できるだけ素肌の露出を控える
- ・ 過信は禁物だが、虫よけスプレーも有効
- ・ 帰宅したらすぐに着替え、入浴して体を清潔にする
- ・ 脱いだ衣類は室内に放置せず、すぐに洗濯する

